

第19回 K. CATフォーラム

寺町・野町エリアの明日を考える
～観光と暮らしの共存～

K. CAT

金沢の都市と交通を考える会

2019.11.16

フォーラム開催要旨

歴史文化資産

寺町寺院群

妙立寺（忍者寺）などの多くの寺院が集積
古くから地域のコミュニティの場としても活用
寺の周りには町家も残る

にし茶屋街

金沢三茶屋街のひとつ『にし』
来年で茶屋街成立200周年を迎える
金沢が育んだ茶屋文化がいまに残る



新しい価値

谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館

『金沢から世界へ』
建築文化の発信拠点を目指す
周辺の歴史的建造物とセットで、界隈への吸引力として注目

旧野町小 価値創造拠点

広く市民が参画し産学官の叡智が融合する拠点
AIやIoT企業が集積する金沢版AIビレッジとの連動

しかし...

- ・ 東山エリアに比べて観光客はまばら
- ・ 人口減少、高齢化の問題も

『観光の発展と暮らしの共存・共栄』をテーマに

このエリアが、『観てよし！住んでよし！』のエリアになるためのプランをみなさんで考えてみましょう！

今日の流れ

項目	時間	作業内容
全体説明	12:00-12:30	本日の内容説明 昼食, 自己紹介 (仲良くなって、チームワークを高めよう!)
まち歩き	12:30-13:30	グループごとに現地のまち歩き (現地を歩いてイメージを膨らまそう!) ※13:25までに会場へ
ワークショップ	13:30-15:30	グループごとにプランを作成
休憩	15:30-15:40	
発表	15:40-16:40	成果発表, 質疑応答
投票	16:40-16:50	投票, 集計⇒表彰 (プレゼント!)
総評	16:50-17:00	コメント, 総評

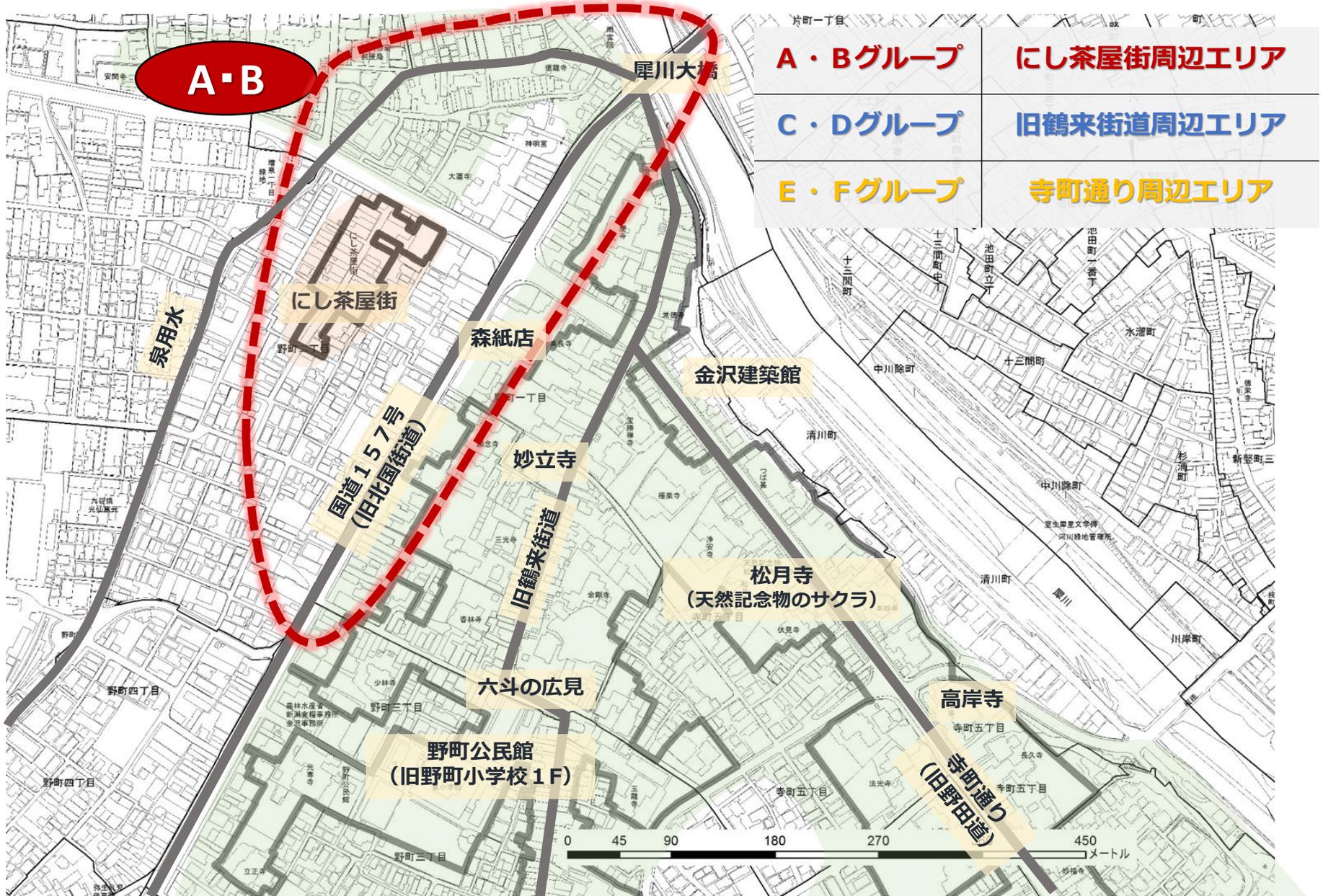
最後に**“集合写真”**でおしまいです!

対象エリアの特徴



寺町寺院群
(緑線内は重伝建地区)

対象エリアと6つのグループ



A・B

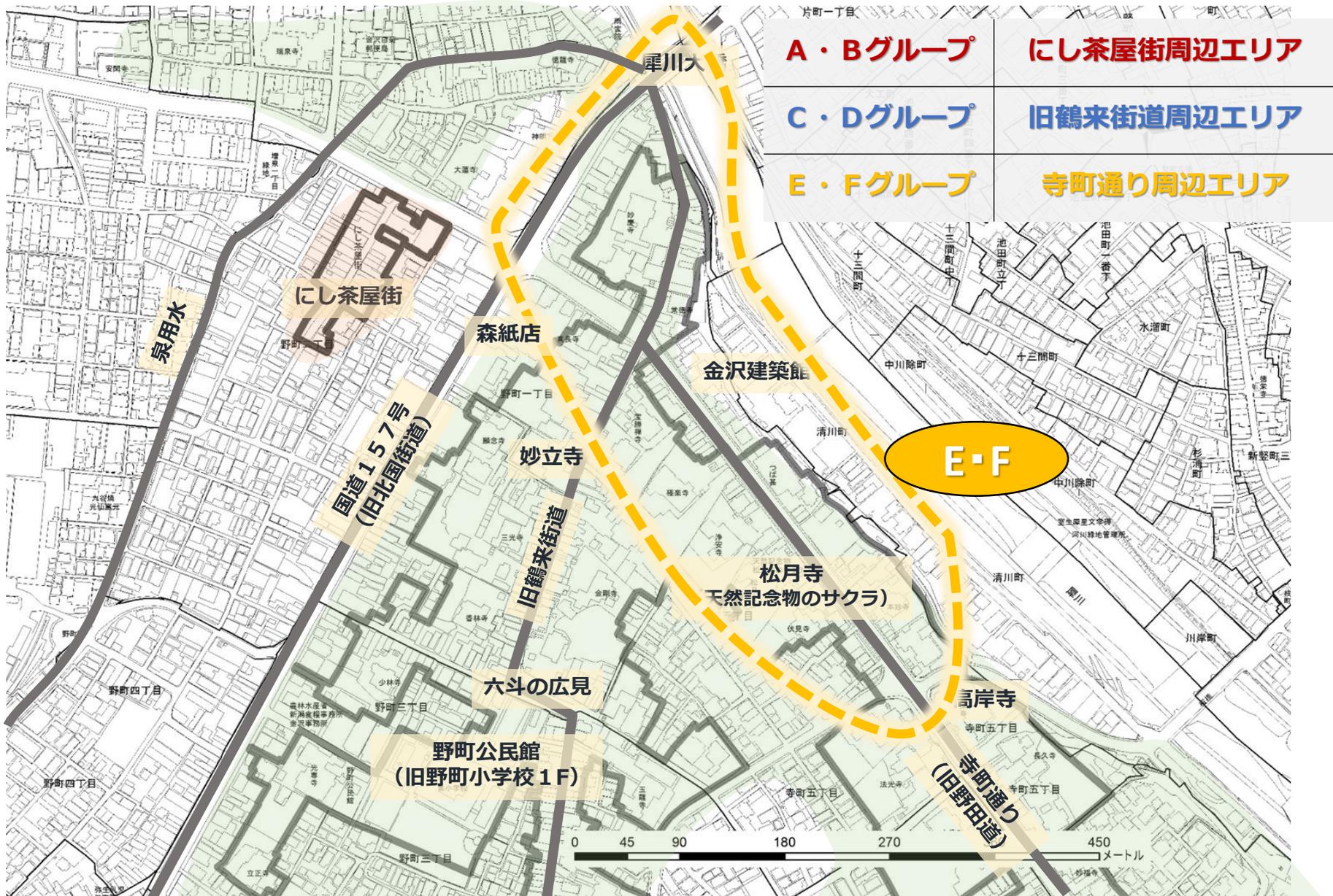
A・Bグループ	にし茶屋街周辺エリア
C・Dグループ	旧鶴来街道周辺エリア
E・Fグループ	寺町通り周辺エリア

0 45 90 180 270 450メートル

対象エリアと6つのグループ



対象エリアと6つのグループ



— 基準情報 —

- ・ 過去～現在
- ・ 野町・寺町エリアの現在のようす
- ・ まちづくりのルール

— 基準情報 —

- ・ 過去～現在
- ・ 野町・寺町エリアの現在のようす
- ・ まちづくりのルール

まちの歴史

寺町の形成

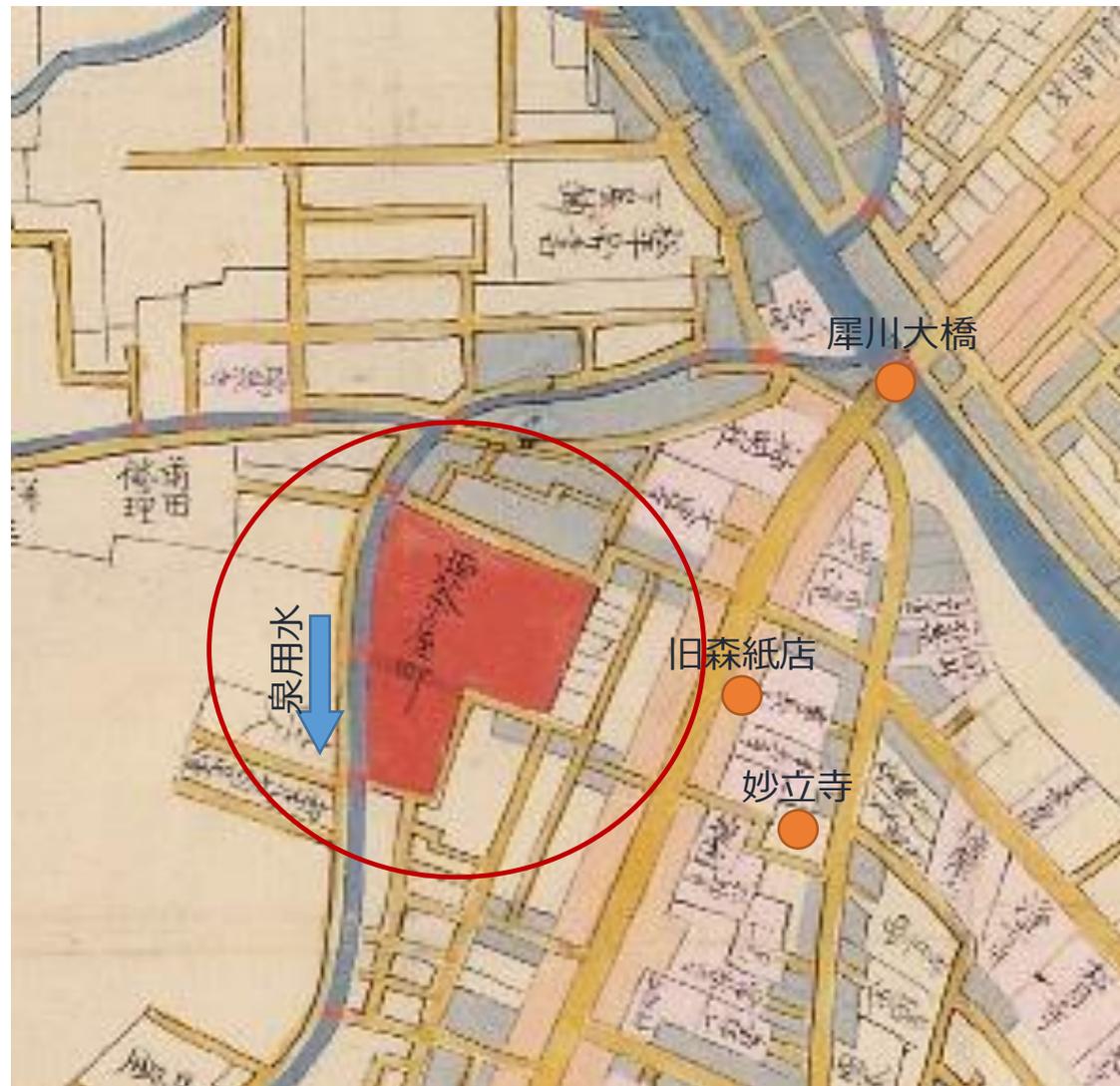
- 北国街道下口で交通の要衝
- 鶴来街道、野田道が通り、
多くの人や物資が往来
- 軍事
 - ・ 城下防衛上の弱点補強
- 鬼門除け
 - ・ 城から見て西南「裏鬼門」
- 都市計画
 - ・ 元和・寛永・万治期(1615-61)の城下町計画
 - ・ 惣構堀建設に伴う移転
 - ・ 町立替 → 高岡、小松から藩士の移動



延宝金沢図 (延宝年間1673年-1680年)

にし茶屋街

- 北国街道の北側の一画
- 文政3(1820)年に、ひがし茶屋街と同時に、茶屋街が成立
- 卯辰山麓の『ひがし』に対して『にし』とよばれた
- 当時は現在の茶屋街より広い範囲であった
- 明治13(1880)年の石坂の大火で建物がほぼ焼失しており、現在の建物は、それ以降の再建
- 来年2020年が茶屋街成立から200周年

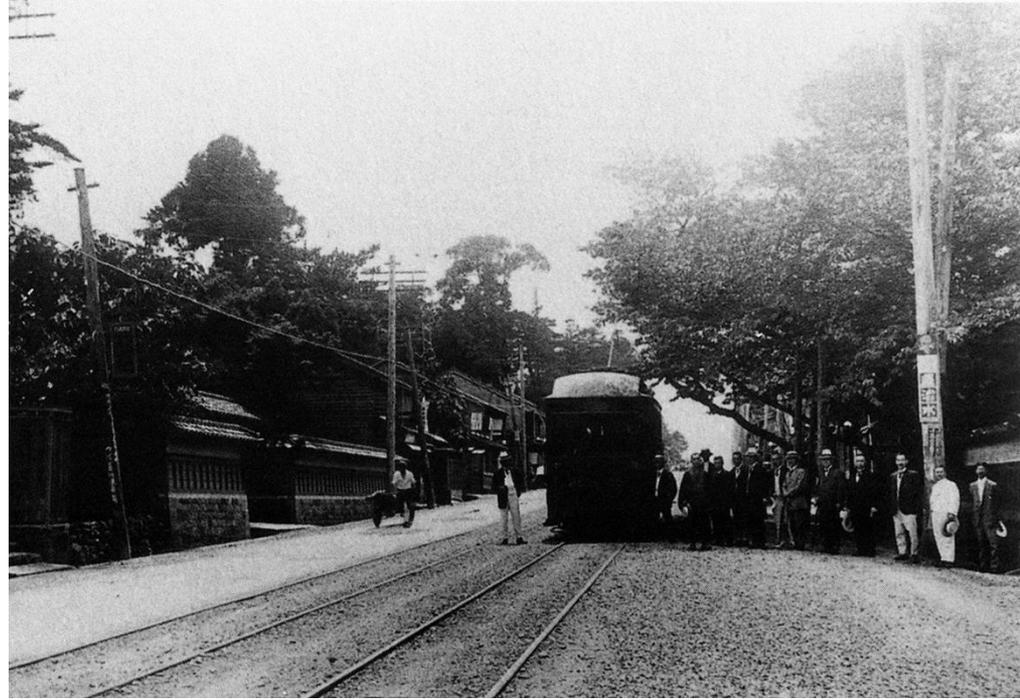


文政6(1823)年金沢町絵図

専光寺野田線（松月寺前の様子）



明治34(1901)年撮影



大正10(1921)年撮影

- ✓大正10(1921)年、市電開通に伴い、旧野田往還北側を道路拡幅
- ✓松月寺のサクラを保護するために、北側へ拡幅したとされる

専光寺野田線（松月寺前の様子）

2019.11.16

第19回 K・CATフォーラム



現在



昭和30年代後半(1960-1964)撮影

✓北側の土塀は大正10(1921)年にセットバックしたもの

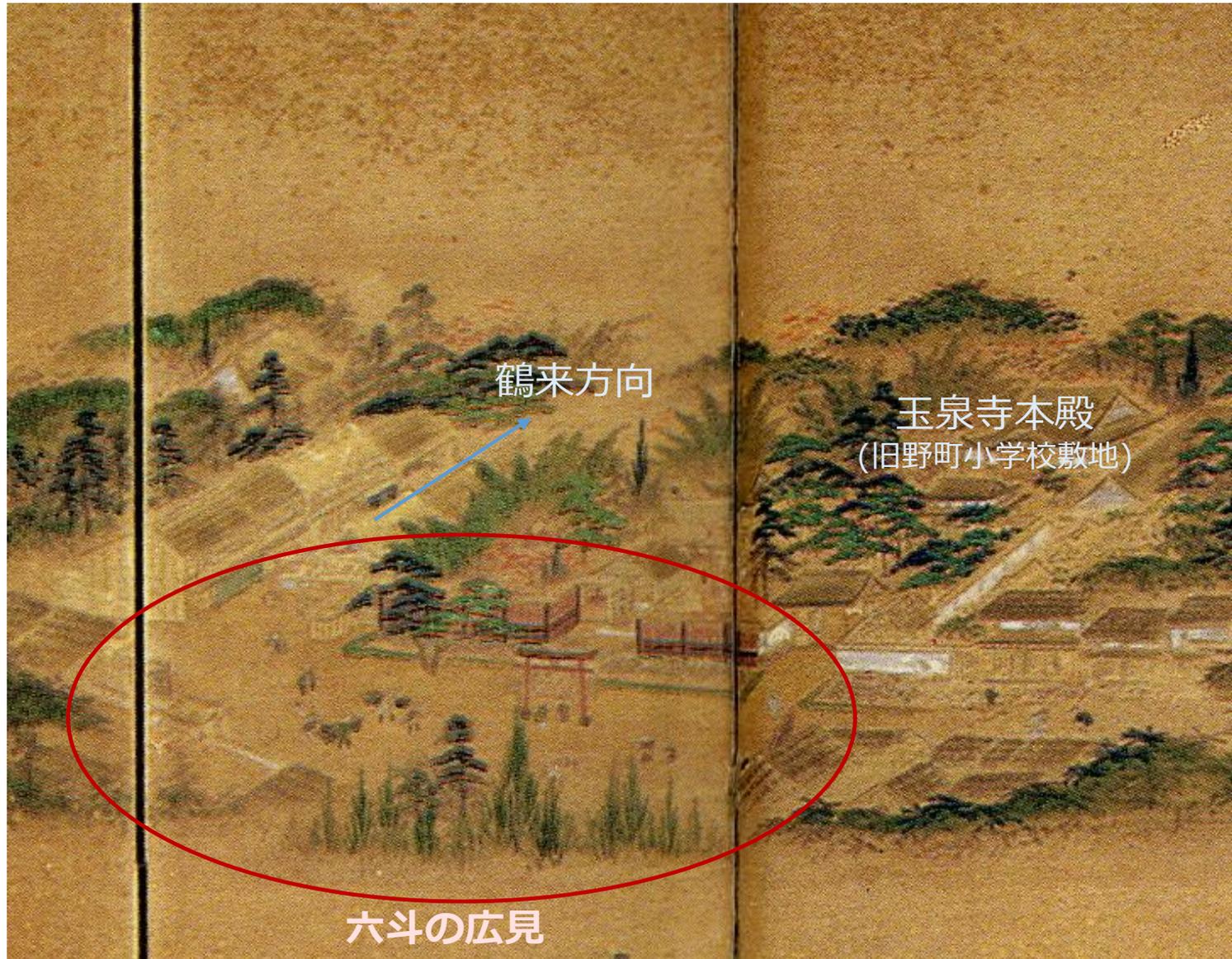
専光寺野田線（高岸寺前の様子）

2019.11.16
第19回 K・CATフォーラム



現在

六斗の広見の様子



金沢城下図屏風-犀川口町図より

六斗の広見の様子



現在



大正元(1912)年撮影



現在

— 基準情報 —

- ・ 過去～現在
- ・ **野町・寺町エリアの現在のようす**
- ・ まちづくりのルール

現在に残る寺院群



金澤町家の分布 (昭和25(1950)年以前の木造建物)



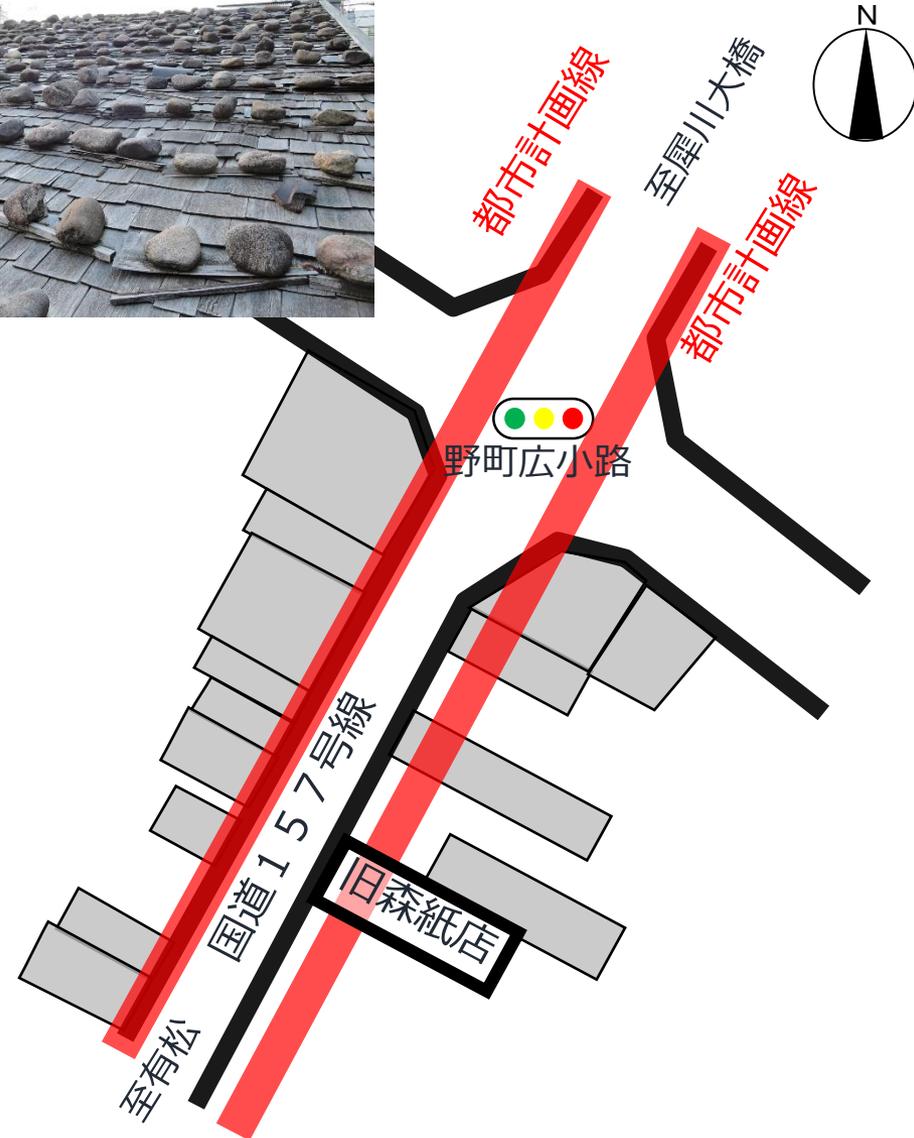


大正期の作家・島田清次郎が過ごしたお茶屋「吉米楼」の跡地に建ち、1階には島田氏に関する展示、2階では金屏風や漆塗りの装飾品など、豪華なお茶屋の様子が再現されています。入館無料
観光ボランティアガイド「まいどさん」が常駐。



大正時代の建築で、国の登録有形文化財になっており、現在も、にしの芸妓衆の稽古場や事務所として使われています。
一般公開はしていません。

国道拡幅と旧森紙店



江戸時代末期（推定）に建築
旧市街地に残る唯一の板葺き石置屋根の建物で木造2階建て
国道拡幅のために約6m曳家
建物は金沢市所有ですが、現在、
活用方法を検討中



1階 ミセノマ



1階 ドゾウ



1階 トオリニワ吹抜け



2階 ザシキ



金沢の名誉市民第一号の建築家 谷口吉郎氏の住まい跡地に、吉郎氏の長男で、国際的に著名な建築家である谷口吉生氏の設計。金沢から世界へ建築文化の発信拠点を目指す。

2019年7月26日開館
10月末現在で来館者2万人を突破

価値創造拠点施設 (旧野町小 2F~4F)

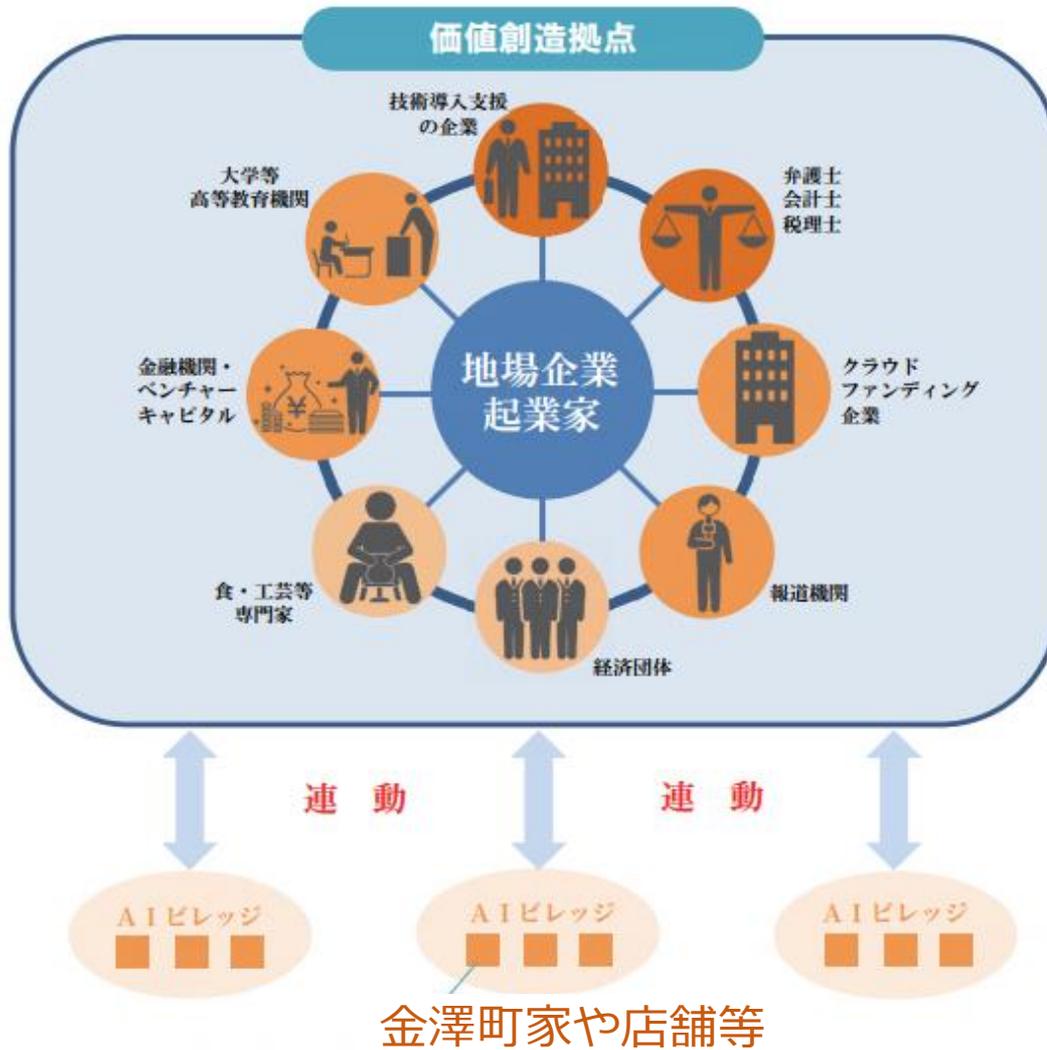
2019.11.16
第19回 K・CATフォーラム



2021年春開設予定

国内外の知識や情報を集積し、金沢が持つ本物の文化等の資産を活かして、広く市民が参画し産学官の叡智が融合する価値創造拠点を整備予定。

価値創造拠点施設 (旧野町小 2F~4F)



AIやIoT企業が集積する金沢版AIビレッジを整備し、価値創造拠点との連動により、共創・成長するコミュニティを形成して、地場企業の活性化と若者や女性等の起業家育成を推進。

城下まち金沢周遊バス ルートマップ

第19回 K・CATフォーラム

1日フリー乗車券
利用可能エリア



主な観光地の最寄り停留所

- 兼六園・金沢城公園**
 兼六園 (石川門向い) RL 7 8
 兼六園下・金沢城 (白鳥橋前) RL 9
 兼六園下・金沢城 (白鳥橋前) RL 9
 ひがし茶屋街
 橋場町 (ひがし主計町茶屋街) RL 4
 橋場町 (石川門向い) LL 10
 橋場町 (石川門向い) LL 10
- 金沢21世紀美術館**
 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa
 広坂・21世紀美術館 (石浦神社向い) LL 8
 広坂・21世紀美術館 (しいのき遊覧館向い) LL 9
 広坂・21世紀美術館 (しいのき遊覧館向い) LL 8
 広坂・21世紀美術館 (石浦神社前) LL 8
 広坂・21世紀美術館 (しいのき遊覧館前) LL 5
 広坂・21世紀美術館 (しいのき遊覧館前) LL 5
- 近江町市場**
 Omicho Market
 武蔵ヶ辻・近江町市場 (いちほ館前) LL 1 5
 武蔵ヶ辻・近江町市場 (あいてつ・エムガ黒門小路前) LL 15 12
- 尾山神社**
 Oyama Jinja Shrine
 南町・尾山神社 LL 2 2
 南町・尾山神社 LL 14 11
 南町・尾山神社 LL 14 11
- 長町武家屋敷跡**
 Naga-Machi Buke Yashiki
 香林坊 (白銀前) LL 13 10
 香林坊 (アトリア前) LL 3 3
 香林坊 (アトリア前) LL 3 3
- にし茶屋街・妙立寺(忍者寺)**
 Nishi Chaya District / Myōryūji Temple
 妙立寺 (忍忍者寺) LL 11
 妙立寺 (忍忍者寺) LL 11
 妙立寺 (忍忍者寺) LL 5
 妙立寺 (忍忍者寺) LL 5

● 広小路 (にし茶屋街・妙立寺(忍者寺) 最寄り停留所)

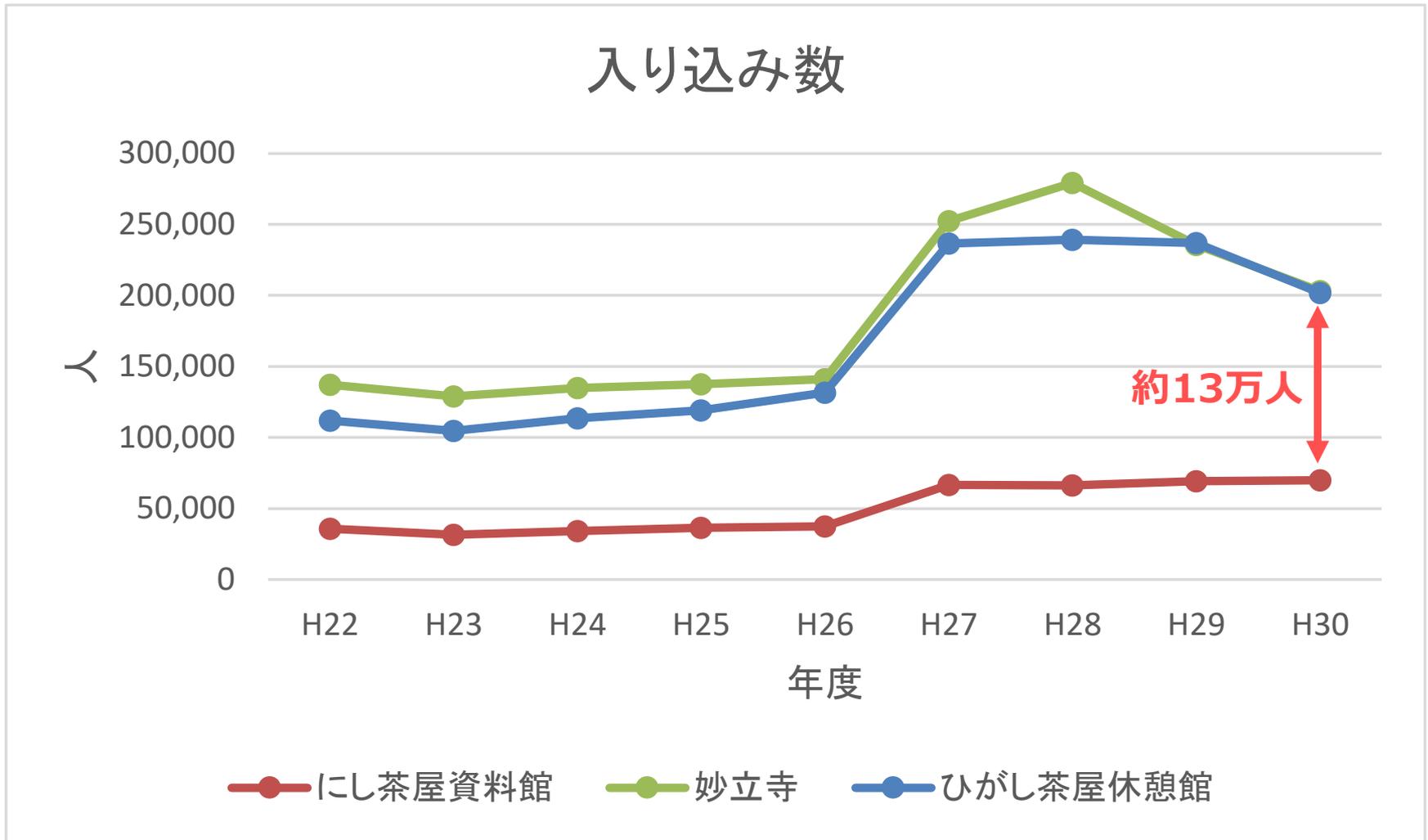
ひがし茶屋街方面
 ②のりば(郵便局向い)から「80・84・85柳橋・大浦・木越住宅」ゆきにご乗車ください(橋場町下車)。

長町武家屋敷跡、近江町市場
 金沢駅方面
 ②のりば(郵便局向い)または④のりば(大坂前)から金沢駅ゆきにご乗車ください(長町武家屋敷跡は香林坊下車、近江町市場は武蔵ヶ辻・近江町市場下車)。

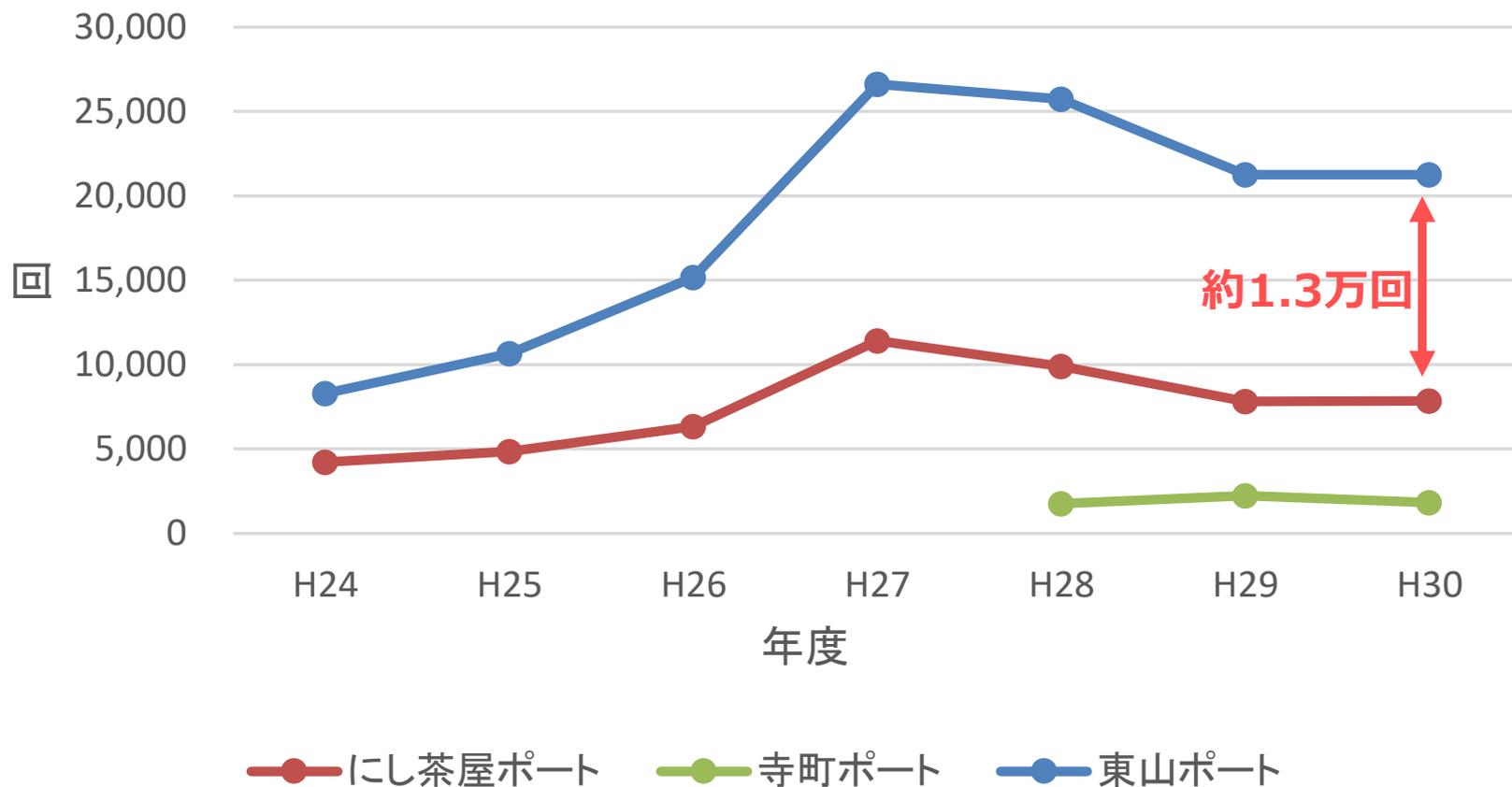


掲載データは2019年4月1日現在

- ✓ 寺町寺院群 (広小路) で金沢周遊バスが停車
- ✓ その他、路線バス、フラットバス (長町ルート) でのアクセス可



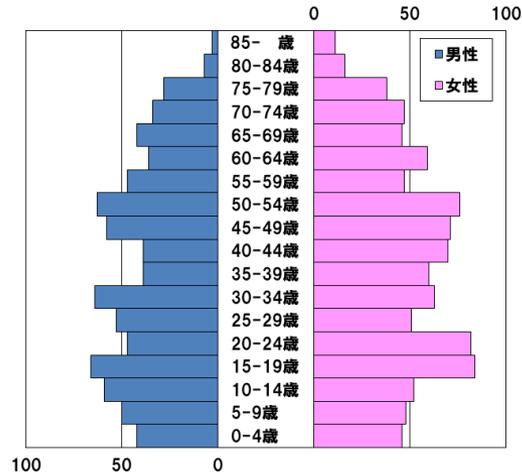
まちのり返却状況



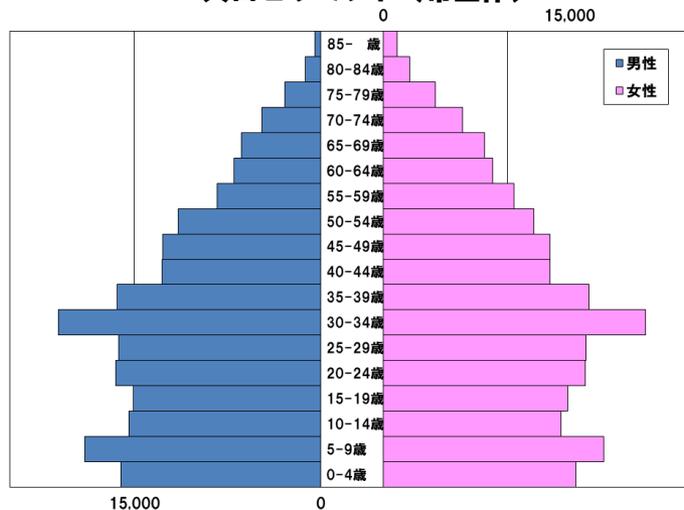
人口特性 (年齢別人口の分布状況)

1980年
(S55年)

人口ピラミッド (エリア内)[※]

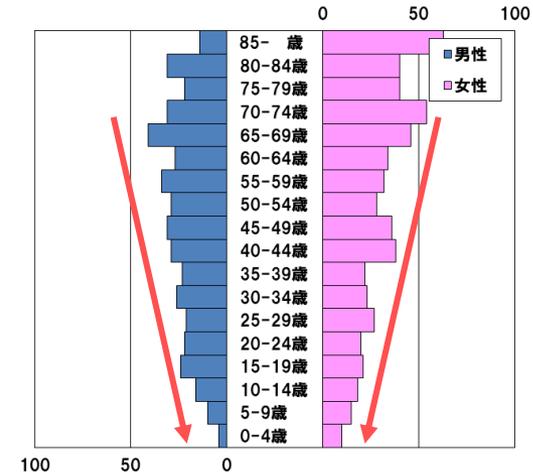


人口ピラミッド (市全体)

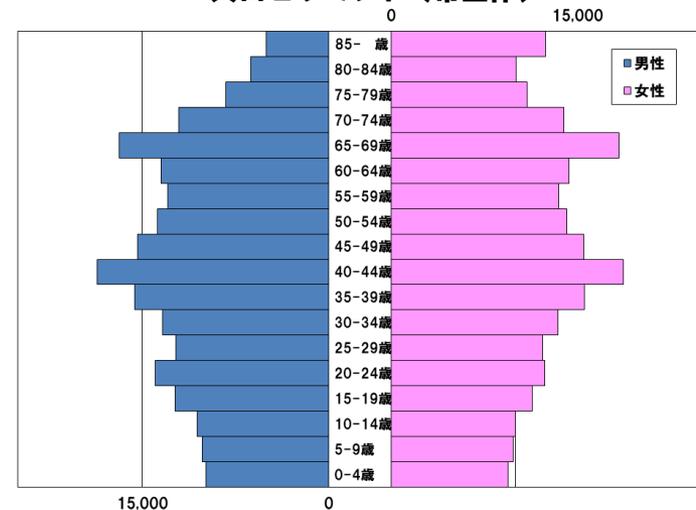


2015年
(H27年)

人口ピラミッド (エリア内)

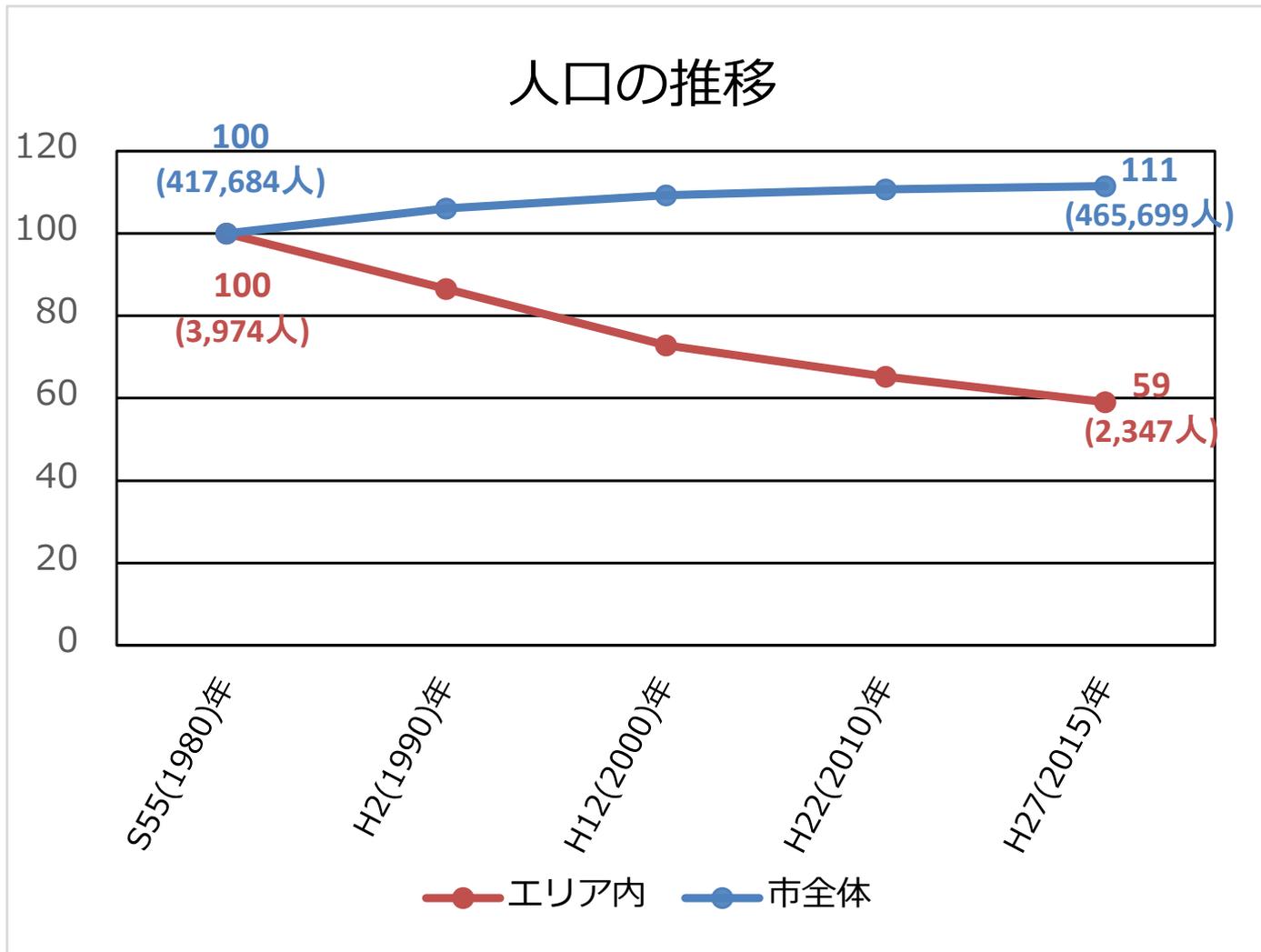


人口ピラミッド (市全体)



※エリア内：野町1丁目、2丁目、寺町5丁目、清川町のデータを抽出

人口特性（人口の推移）



- ✓人口に対し高齢者の占める割合が市平均より高い
- ✓人口も1980年代から減少が続いている

※エリア内：野町1丁目、2丁目、寺町5丁目、清川町のデータを抽出

— 基準情報 —

- ・ 過去～現在
- ・ 野町・寺町エリアの現在のようす
- ・ まちづくりのルール

- 貴重な歴史的まちなみを保存、整備するための、まちづくり制度
- 文化財保護法に基づく「面的な文化財」



- 貴重な歴史的まちなみを保存、整備するための、まちづくり制度
- 文化財保護法に基づく「面的な文化財」

伝統的建造物

歴史的に価値のある建造物で
特に保存の必要があるもの
(所有者の同意が必要)

建築物 (寺院、町家)

工作物 (石段、石積など)

環境物件

歴史的に価値のある
樹木、庭園、水路
などの自然物

一般建造物

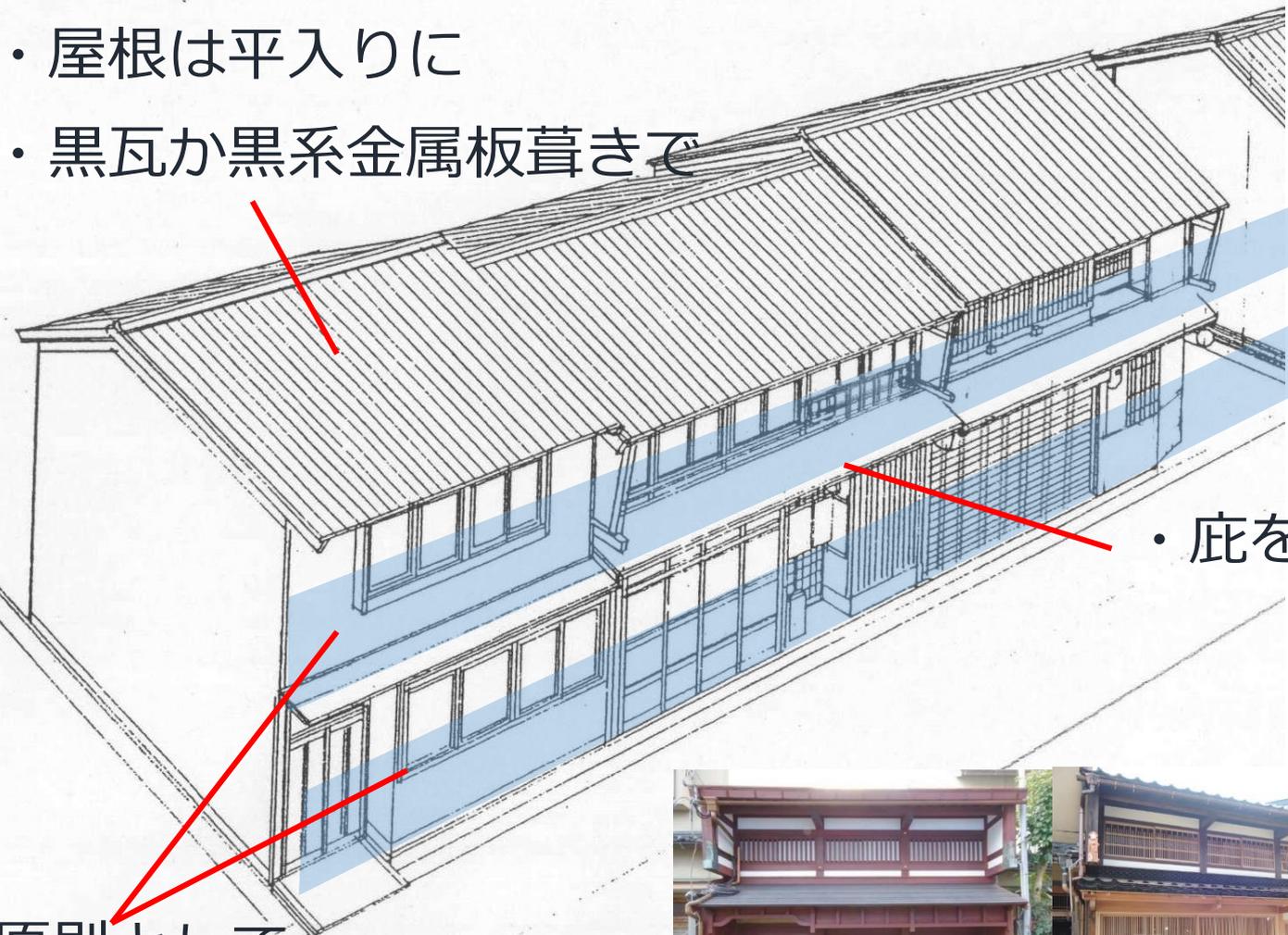
伝統的建造物
以外の建造物

調和

調和

- ✓ 重伝建地区内の建物は、原則保存か伝統的建造物に調和させる
- ✓ 道路の拡幅、地割の変更も原則不可

- ・ 屋根は平入りに
- ・ 黒瓦か黒系金属板葺きで



- ・ 庇を設ける

- ・ 原則として、
壁面線を揃える



伝統的建造物



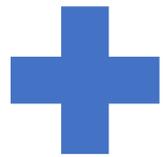
修景基準



許可基準

まちの独自ルール

- ・ 用途制限
 - ・ 壁面の位置の制限
 - ・ 高さの制限
 - ・ 形態意匠の制限
- など 13 項目

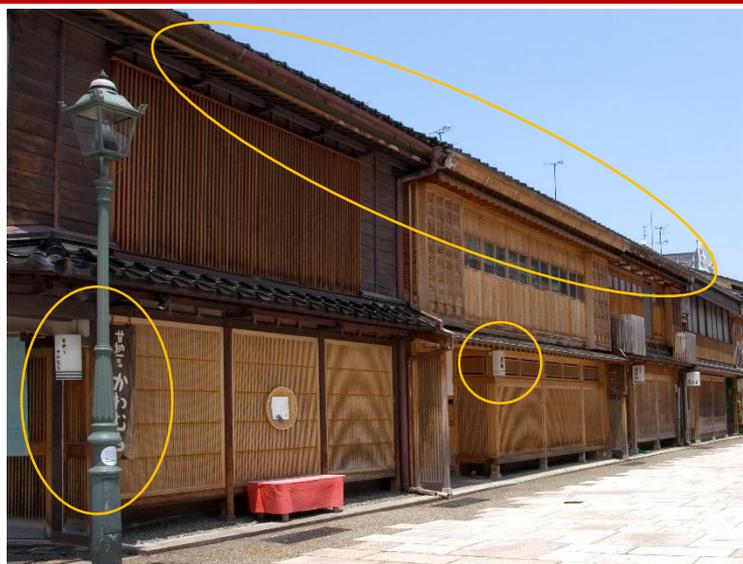


地元のまちづくり活動 について明文化

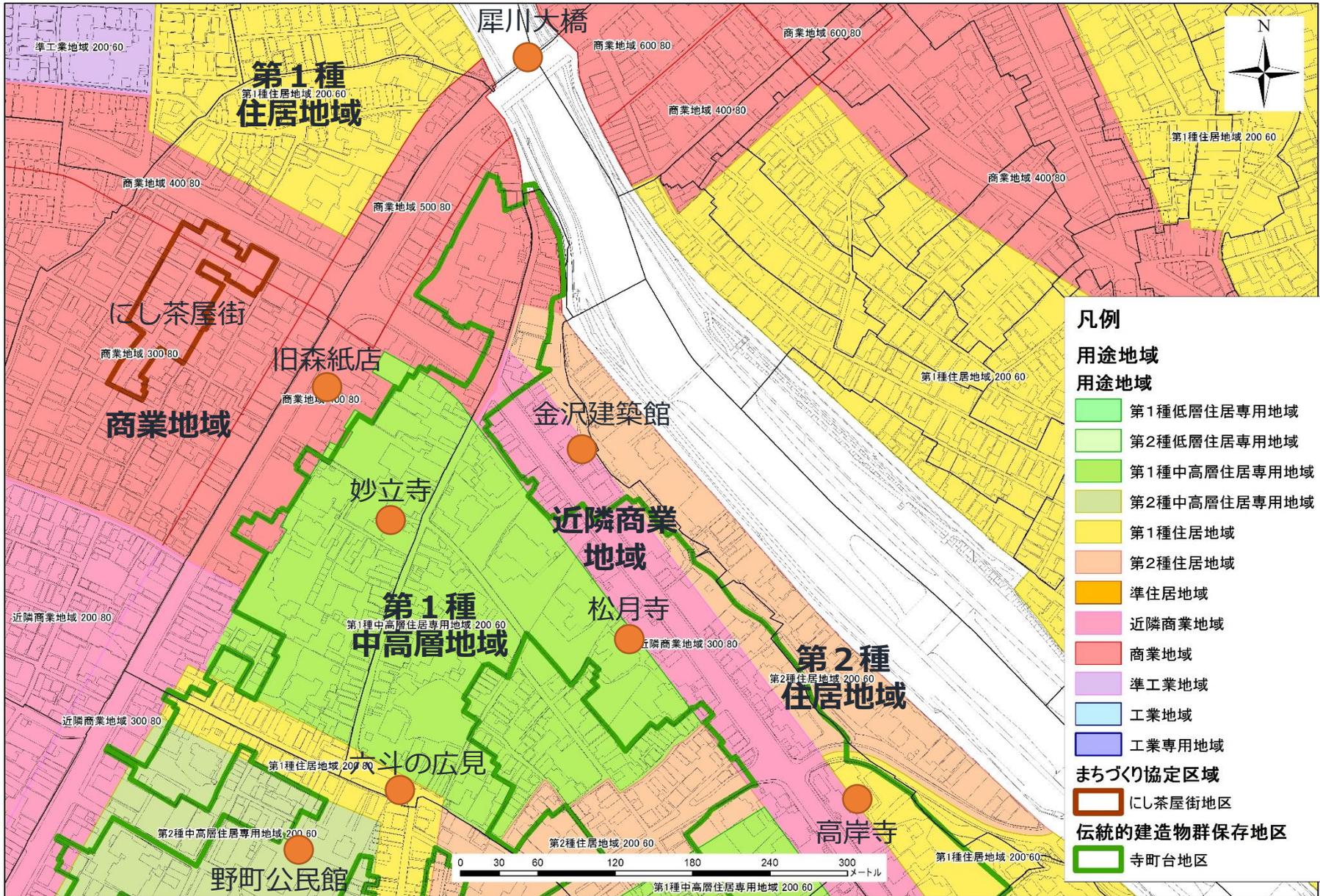
- ・ 努力規定
- ・ 清掃、除雪の約束事
- ・ その他まちの特性に応じたルール

にし茶屋街では...

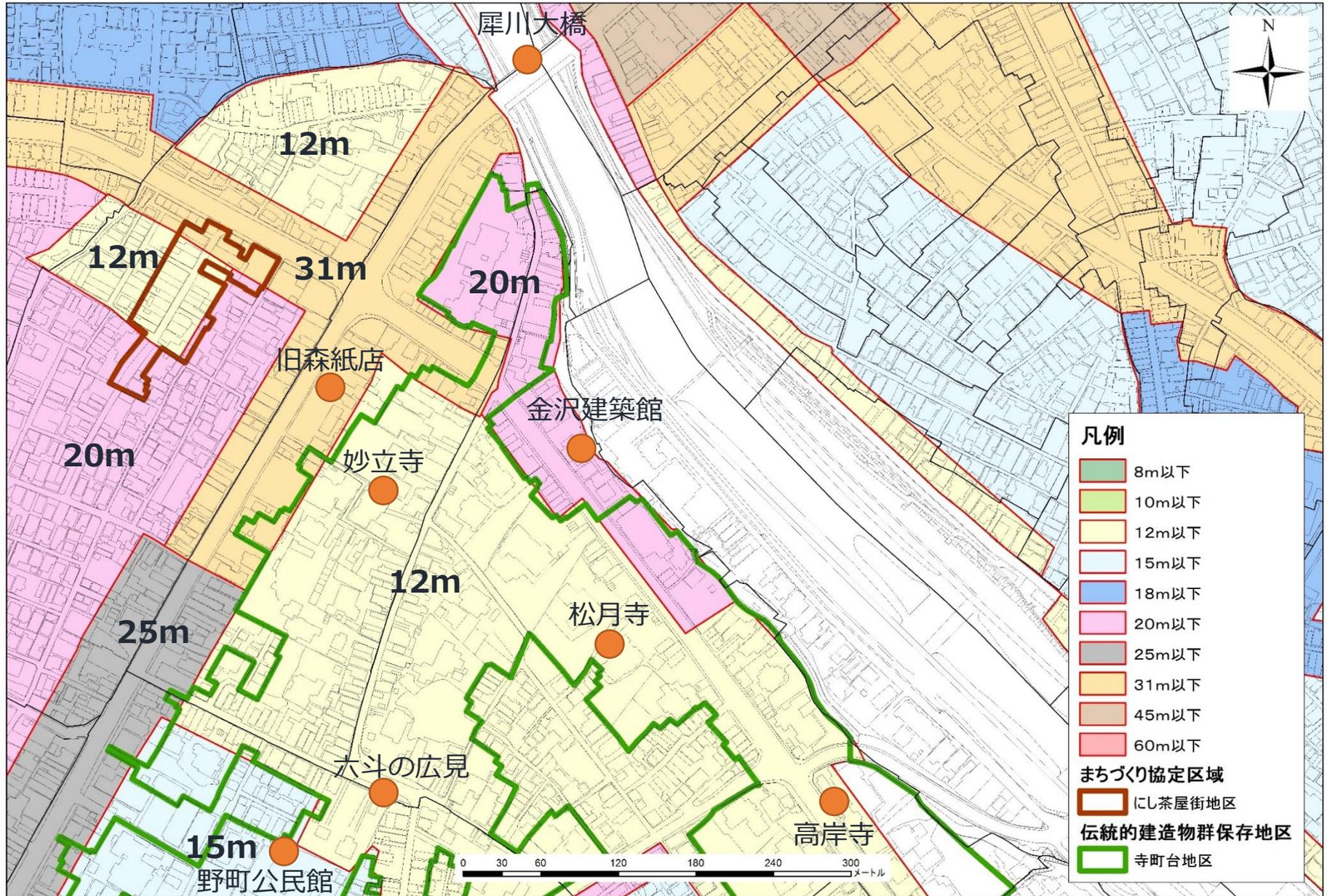
- 町並みの統一性、連続性のために、
- ✓ 壁面や屋根、軒等の建築意匠
 - ✓ 屋外広告物の素材やデザイン
総量の規制
 - ✓ 土産物店への販売物の制限
 - ✓ 地元団体との事前協議
- 等々をルールとしています。

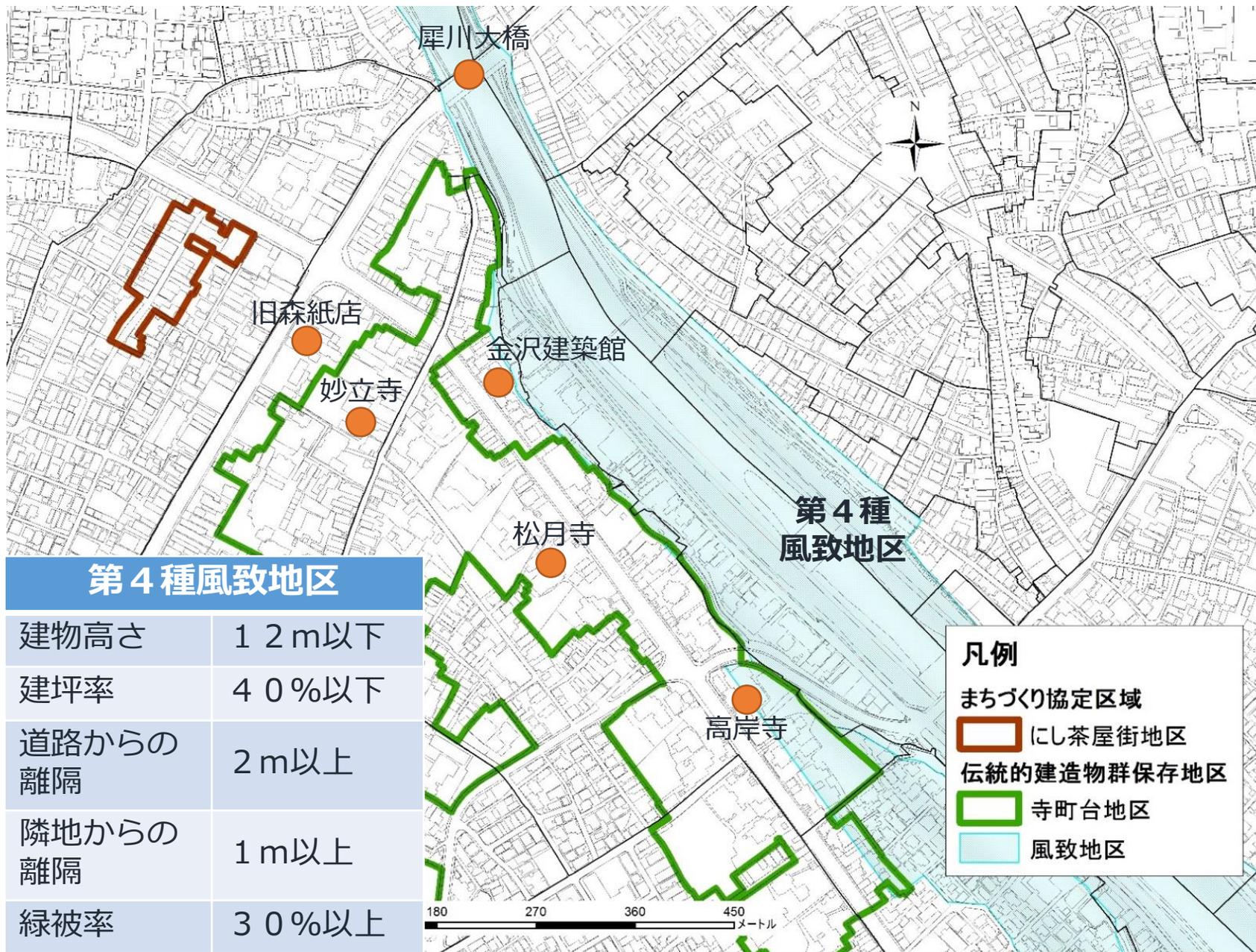


用途地域

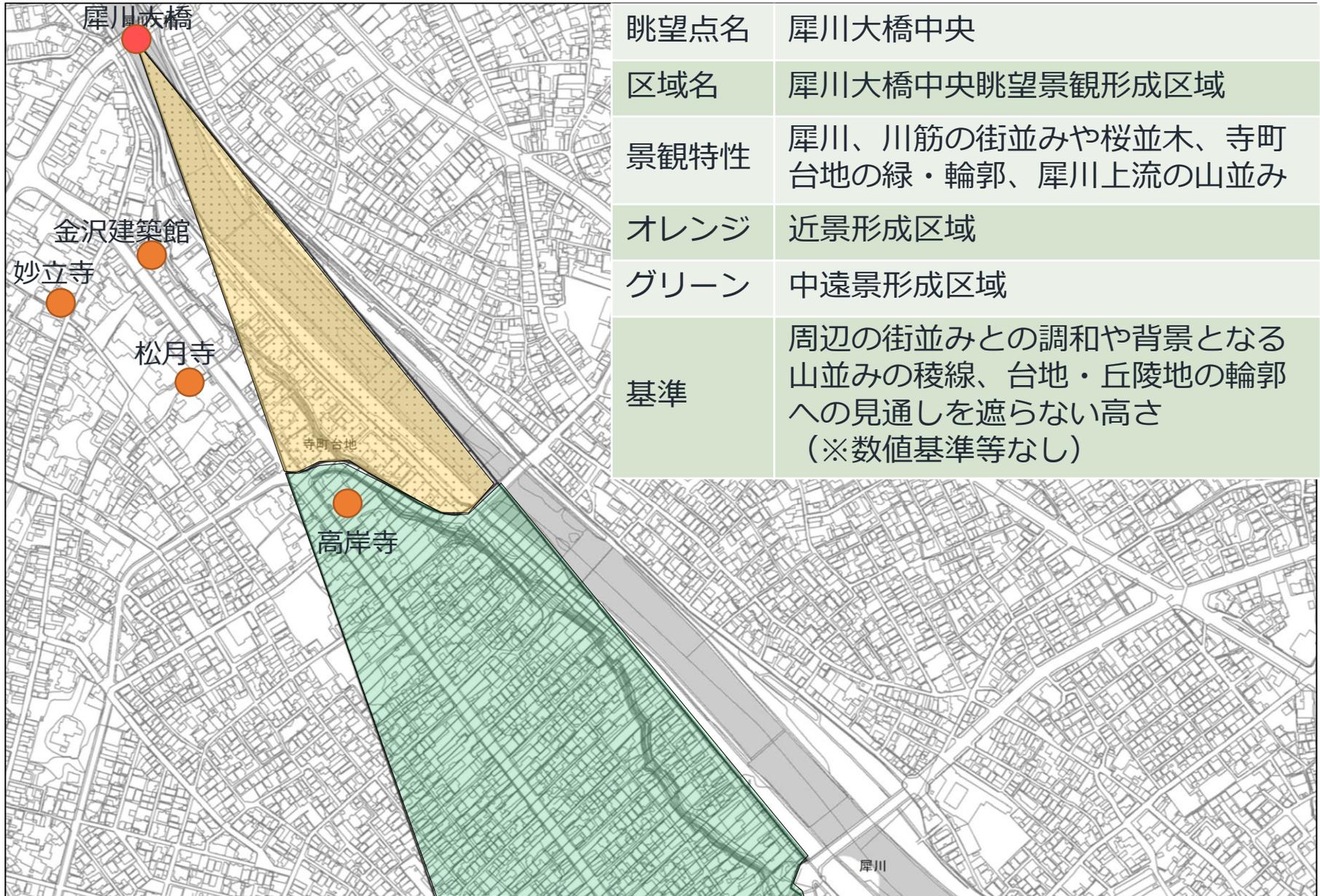


高度地区





眺望景観形成区域



— まち歩き・ワークショップ —

『共通事項』

- ✓ 区域を面でとらえて、住みたい、訪れたい
まちを提案
- ✓ 道路・公共施設・既存施設を活かしたり、
変化させたり 自由な発想で！
- ✓ ただし、まちづくり協定や重伝建地区などの
既存ルールは尊重しながら

『検討ポイント』

- ✓ 今ある施設やまちの雰囲気も意識しよう
- ✓ 新しい施設や歴史的建物（町家・寺社・お茶屋）を
どう活用するか
- ✓ 観光、定住の両面でのアプローチ
- ✓ 周辺施設やエリアとの関係も意識しよう

ワークショップのすすめ方 (1)

模造紙
(発表用)

地図 2枚
・作業用
・発表用

資料

✓机の道具を使ってみんなの
意見をアウトプット

✓アイデアは数が勝負

✓少しずつまとめることも
忘れずに！

※時間配分も重要です！



ワークショップのすすめ方 (2)

<地図>

提案テーマ

テーマは
印象が大事！！

地図



- ✓エリアや配置などの内容を地図に落とそう
- ✓コンセプトや説明は模造紙でもO.K.

チーム名：メンバー名

<模造紙>

提案テーマ



- ✓発表内容を表現
- ✓コンセプトや説明など
- ✓地図との二刀流でわかりやすく

チーム名：メンバー名

特に決まりはないですが、**小さな工夫やこだわり**が共感を呼ぶかも！？



半日の貴重な時間！

みなさん**楽しみながら**

“まち”について考えましょう

まち歩きスタートです！！

